

陶芸がつなぐ 笹間の魅力

～国際陶芸祭からはじまる「地域おこし」～



2011年から始まった陶芸の祭典「ささま国際陶芸祭」は、今年で4回目を迎えます。陶芸で盛り上がる一方で、さまざまな人たちに一対一のつながりを作り、地域を変える活力が生まれています。

国際陶芸祭実行委員会
☎ 54-0661
間文化課 ☎ 36-7966

「ささま国際陶芸祭」は、笹間地区に世界トップクラスの陶芸家が集まり、芸術文化で盛り上がるイベント。一方で、地域住民によるおもてなしや、出身や国籍の異なる人たちとの交流の機会など、言葉と国境の壁を越えて人と人とのつながる期間でもあります。期間以外でも、芸術家に空き家を提供し創作活動のために滞在してもらう「アーティスト・イン・レジデンス」によって、外からやってきた人と地域の人との深い付き合いが生まれ、地域の活気や自信が生まれています。皆さんも魅力たっぷりの山村で、笹間や世界とつながつてみてはいかがでしょうか。

陶芸だけでなく交流や地域の特色を楽しんでほしい

□ 数を重ね交流が進んでいく中で、人との一对一での交流やリアルな山村生活の体験など、笹間地区のここでしかないものが特別だと言ってもらえる機会が増えました。これからも単発のイベントで収まらず、生まれた交流を生かして地域の成長につなげていけばと思っています。

私は、陶芸祭の実行委員として、地域のイベント参加者の調整などを担っています。このイベントの魅力は陶芸だけでなく、地域の人と外の人が集い、交流できるところ。私も、異業種の人と接点を持つ機会ができたことで、考え方や感じ方の違いを実感することができ、とても貴重な体験になっています。



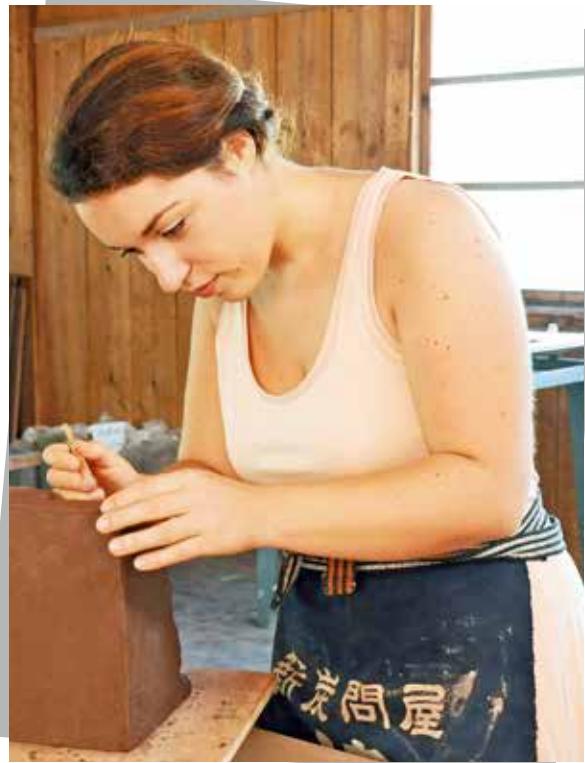
国際陶芸祭実行委員
おかむらのゆき
岡村暢行さん

当たり前の中に魅力を発見する

陶芸を学ぶため、フランスから笹間に移住したジョセフィンさん。創作活動だけでなく、交流センターの手伝いや農作業など、地域の人たちとのつながりに魅力を感じています。それは、笹間地区でのリアルな生活がここでしかできない・学べないことだと言います。



ジョセフィンさんが魅せられた笹間地区の美しい風景



笹間地区に魅せられた来訪者

ジョセフィン・マリノさん

「今」年の6月から笹間にやつてきて、陶芸や日本文化を学んでいます。 笹間地区の魅力は、茶畠など自然が豊かで美しいことはもちろんですが、何より人が温かいところ。優しくて思いやりがあり、近所のことなどを気にかけてくれています。また、わら細工や木工など『ものづくり』の文化があることも、素晴らしいです。

急に外国人が多く訪れて、初めは笹間の人たちは戸惑ったかもしれません。でも、今では言葉だけでなく身振り手振りでも伝わるといふことを分かってくれていで、積極的に「コミュニケーション」をとっています。

初めは、陶芸を学べることができますが、それだけでいいと思っていました。しかし、この地区の人や文化に触れて、一生笹間に住みたいと思つようになりました。これから日本のリアルな暮らしを学び、自分の人生の糧にしたいと思っています。国際陶芸祭では、フランスの専門学校と日本の学校とのコラボレーションイベントにも関わります。自分が懸け橋となつて、イベントを成し遂げたいです」

年にやつてきて、陶芸や日本文化を学んでいます。 笹間地区の魅力は、茶畠など自然が豊かで美しいことはもちろんですが、何より人が温かいところ。優しくて思いやりがあり、近所のことなどを気にかけてくれています。また、わら細工や木工など『ものづくり』の文化があることも、素晴らしいです。

とき／11月23日(木)～26日(日)
ところ／山村都市交流センターささまほか

【第1部 マナブ】

▽世界各国を代表する陶芸作家を招き、最新の陶芸技法や世界の陶芸事情を学びます。今回は、ギャラリー経営者によるトークショーも予定しており、芸術イベントについて幅広く学べる2日間です。

とき／11月23日(木)午前10時から
24日(金)午前9時から

内容／招待作家によるデモンストレーション・スライドレクチャー、交流会・シンポジウムなど

参加費（一般1日券）／当日

4000円、前売り3800円

※ 2日間通し券あり（当日は8000円、前売りは7500円）。学生は、1日券は2000円引き、2日券は4000円引きです（15歳以下は無料）。

【第2部 テアウ】

▽メイン会場の交流センターのグラウンドをはじめ、民家や廃校での作品展示・販売を行います。その他にも、里山ハイキングや地場産品の販売、日仏の陶芸学校生徒による共同制作展示などが企画されています。25日夕方には、世界で初となる酒瓶で作った窯で焼成するパフォーマンス「SAKE BOTTLE KILN FIRING」

「今」までに3回、陶芸祭が行われたおかげで、海外から来た人が笹間地区に住むなど、考えられないことが起きました。自分にも地域にもいい刺激になっています。

普段から、自分はみんなのおかげで生きてもらおると思っているからこそ、だから来た人でも大切にし、自分から声を掛けるようにしています。普段会えない人と話すと、新しいことや世の中の動きの話を聞けますし、いつまでも新鮮な気持ちでいられるんですよ。こちらが楽しんでいるから、初めての相手でも接しやすく感じてくれるのかもしません。

80歳を過ぎても、声を掛けてもうらえて新しい経験が増えていくことは、うれしい限りですよ。最近はレジデンスで訪れている外国人に、布草履の作り方を教えたり、移住してきた人に昔の生活や道具の話をしたりすることが、楽しみになっています。

国際陶芸祭では、敬老会でお弁当を作つて販売したり、しめ縄や草履など作ったものを出展・販売したりして、地域総出で『おもてなし』をしていきます」



地域の温かさで来客をもてなす協力者

さわもとしん
澤本慎さん

新しい価値観に出会える機会

笛間地区で魚屋を営む「しんちゃん」こと澤本さん。その親しみやすさから、市外や国外から訪れた人にも気軽に話し掛け、すぐに打ち解けてしまうとのこと。どんな人の出会いでも大切にするからこそ、陶芸祭をきっかけに得る経験が、生きがいにつながっていると言います。



わら細工などを地域内外の人たちに伝える澤本さん



前回(平成27年)の作品展示、ワークショップ

が予定されています。陶芸家や住民、そして地域と出会う2日間です。
とき／11月25日(土)・26日(日)午前10時

内
容

- ◎ 参加作家による作品の展示・販売
 - ◎ 陶芸に親しむキッズスペース
 - ◎ SAKE BOTTLE KILN FIRING (25 日の日没後)
 - ◎ 地場特産品、陶芸用品、飲食ブースなど
 - 入場料／500円
 - ※ 当日販売のみ。15歳以下は無料。
 - ※ チケット販売など、詳しくは実行委員会へお問い合わせください。